公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和8年7月7日

施設名	青少年体育館	所管課	教育委員会生涯学習課

1　施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767		
業務内容	・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること ＜令和7年度主催事業＞ ・小学生スポーツ教室　・体力つくり教室　・小学生バトミントン教室　・青少年体育館スポーツ交流会　・スラックライン体験　・救急法講習会　・第28回小学生ドッジボール大会　・小学生トレーニング講習会		
施設内容	青少年の健全育成及び県民の健康増進並びに体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。 利用開始日：平成3年12月1日 建築物：鉄筋コンクリート一部2階 施設概要： 1階アリーナ　1,728㎡ バスケットボール2面　　バレーボール3面 バドミントン10面　　卓球15台 ハンドボール1面　　テニス3面 トレーニング室　144㎡ 会議室72㎡×2室 更衣室・シャワー室 2階観覧席　1,500席		
職員体制	【R7当初】 職員：館長1名　事務長1名　館長補佐1名　副館長1名　指導員4名　　合計：8名 ※館長・館長補佐は高知青少年の家と兼務		

2　収支の状況

（単位：円）

		R06年度（決算）	R07年度（決算）	R08年度（予算）
収入	県支出金	41,332,000	40,193,000	40,621,000
	事業費収入	307,954	404,971	450,000
	収入計（a）	41,639,954	40,597,971	41,071,000
支出	事業費	490,411	649,556	694,000
	管理運営費	15,921,199	15,158,123	15,544,000
	人件費	19,220,044	20,719,120	21,100,000
	消費税	4,026,306	4,078,801	3,733,000
	支出計（b）	39,657,960	40,605,600	41,071,000
収支差額（a）－（b）		1,981,994	△ 7,629	0

使用料収入	2,385,670	4,523,120	4,555,000

3　利用実績

（1）利用団体数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	平均
利用者数	50,275	58,212	65,160	31,563	60,467	53,135
利用団体数	1,768	1,897	1,942	889	1,809	1,661

4　業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	・エアコン設備が無いと公式大会が開催されない等の制約があるため、今後、利用者拡大のためには、空調設備の整備が課題となってくることが想定される。 ・生涯スポーツとして地域住民を中心に夜間利用をを拡充するなど、利用拡大に向けた取り組みは評価できる。 ・各種スポーツイベントや近隣小学校との連携で、様々な事業を実施している。 ・町民やシニア向けの施設整備も充実させようと意識している。 ・駐車可能台数、体育館の空調、郊外立地のため限定的なアクセス方法など利用拡大の向かい風となる問題が数多くあります。これを乗り越えるためには①今の条件でできる範囲を精一杯取り組むことと、②取り組みや施設の中で止めるものを決めて内容を変えていく、の2つがあります。「前からやってきたので今もこれからもやる」「今あるので何とか維持する」という考え方に、「止めて違う方法を考えて実践することはできないか」という視点を加えて検討をおこなってください。 ・設備の導入や維持管理に費用がかからない（かかりにくい）競技の推進を検討してみてはいかがでしょうか。バスケットボールはゴール設備が高価であり維持管理にも費用が必要です。たとえばドッジボール（共催事業として大会を実施中）やボッチャのような大型設備を必要としない分野の競技があります。そういった競技を調査して、その競技の普及を図る施設として存在意義を高めていく方法があります。 ・立地条件の良さから、常に多くの利用者のある施設であるが、職員の既存のネットワークや、地域の学校等への広報活動を地道に行い、利用者確保に取り組んでいることは評価される。 ・地域のスポーツ団体等との関係性も良好である。
②利用者へのサービス向上のための改善策	・競技団体の代表者との意見交換、指導員との定期会議を行うなど利用者サービスの向上には取り組めている。 ・緊急時の体制を、3つの組織で連携して行うよう、工夫している。（青年の家・いの町スポーツセンター等） ・定期的な機器点検や施設点検も行っている。 ・利用者アンケートの回答内容について適正に対応をしています。 ・利用者アンケート等を活用し、要望の把握や各競技団体等の情報を収集していることは一定の評価がされる点である。 ・今後、より多様な利用者のニーズを把握できるよう取り組んでいただきたい。
③施設の運営について	・エアコンの無いなかで、事故や大きなケガも無く運営が行われている。 ・年間358日、ほぼ休みなく開館され、継続的な施設運営が実施されている。 ・定期メンテナンスや老朽化修繕など、想定できる経費については、早めに見積もり等を徴し、予算組みをすれば更により良い運営につながると思われる。利用者の衛生面・安全面を最優先に運営できていることは評価できる。 ・体育館の空調問題やトレーニングジムの機器更新が難しい問題にどう取り組んでいくかは課題であろうが、予算のこともありこの問題は施設の運営とは切り離して評価しなければならない。 ・安全管理や見回り活動などは、安定的に実施されている。 ・トレーニング室の機器の経年による新たな機器導入については慎重に検討するべきです。導入時や維持に高額な費用が発生する機器や設備を導入するのは今の高知県の社会情勢に適合しない場合があります。トレーニング室は廃止、代わりに「体力づくりや運動機能維持・向上ができる場（低額な機器もしくはヨガや体操など体を動かすことに重きを置くもの）として再開することを検討していただきたいです。 ・体育館の空調機器設置ならびにバスケットボールのゴール機器の定期点検については費用の見積もりを取得してその是非を検討してください。駐車可能台数が限定されていること、空調機器未設置のため夏場の使用が難しい、という条件もあるため、「大きな大会は受け入れしない」「夏場は使用しない・冬場の使用を奨励する」など抜本的な視点で運営を再構築する必要があると考えます。 ・限られた人数で効率よく運営が為されている。併設されている高知県青少年の家との連携も有用であると思われる。 ・施設、設備の老朽化に伴う修理、更新等については、大きな予算を必要とすることより、設置者である高知県教育委員会と連携し対応策を講じることが今後の課題であると感じた。

④利用実績		・利用者数、利用団体数ともに施設改修前に戻ってきている。 ・過去5年の利用実績平均を利用者数・利用団体数ともに上回っている。 ・耐震工事で利用者数が減っていた昨年度と比較し、本年度は一昨年度の利用実績まで戻っている。 ・利用者の実績は令和5年度並みに回復しています。（令和6年度は改修工事のため利用者は減少している） ・工事休館の前年程度の利用者数及び利用団体数を確保したことは指定管理者の取り組みの成果であり評価される。
⑤収支の状況		・収支状況は若干のマイナスであったが、予定外の経費支出など諸事情を考慮すれば健全な収支と思われ評価に値する。 ・健全である。 ・予算に沿った形で運営できています。空調機器や競技設備の維持管理費用については運営費用とは別枠として県担当課とその是非を検討してください。 ・R7年度予算に対して、人件費の増大を事業費、管理運営費の削減で対応し、全体として支障ない収支状況であると思われる。
総合評価	A	・職員が利用拡大に向け、また、利用者サービス向上に向けて日々真摯に取り組んでいる姿勢は十分に評価できる。 ・空調問題で6～9月の利用者数が激減している問題や、駐車場台数の不足問題はあるが、施設の運営管理という面は優れた取組ができている。 ・管理代行に関する基本的な考え方に記載のある「健全育成」「健康増進」「体育の振興」「社会教育活動」の各項目の実現・達成についてはその手段を限定していません。従前におこなってきた内容を今後も継続するだけでなく、まったく異なる競技や取り組み内容を導入できないかについて、柔軟な視点と発想で検討をおこなってください。県内外の同様施設がこのような課題に対してどのように対処・進化を図っているのかについて、視察と情報収集に出かけてみることも試行してみてはいかがでしょうか。費用を大きくかけずにユニークなアイデアや人の協力により乗り越えている施設もいずれかの地にきっとあるのではないかと思います。ここ数年、高知青少年体育館と青少年の家は同じ課題で留まってしまっているように感じます。新たな所長さんを迎えて心機一転、数年先にはどちらの施設もがらっと内容が変わり、それでいて多くの利用者に受け入れられる施設運営が叶うことを期待しています。 ・恵まれた立地条件と多様なスポーツに取り組める環境、比較的安価な利用者負担等により、多くの利用者が見込める施設であり、現状では指定管理者の尽力により大きな支障なく運営されていることは評価される。 ・今後「青少年の健全育成並びに県民の健康増進及び体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供する。」の理念を引き続き達成するために、設置者である高知県教育委員会と連携し、施設設備の老朽化、体育館へのエアコン設置、施設までの交通手段の確保、業務の大胆な整理統合と効率化等に取り組んでいただきたい。

【評価の目安】
A：仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
B：おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
C：仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
D：管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。
　また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。